

(LAURUS)

最終決戦。

ついに最終決戦となる土別大会に突入。
緊張が走る中、北の大地での
最後のレースが始まりました。

ホクレン 2018 7.14^土
ホクレン・ディスタンスチャレンジ2018
DC 土別大会

HP <http://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1332/>



種目 3000m

小井戸 涼	3000m A組	2位
		9分26秒39



入部後初めてのケガを体験し、それまで順調な選手生活だった小井戸選手はもどかしい時間を経験しました。
けれど、それもしっかりと乗り越え着実に実力を固めてきました。
小井戸選手いわく「イヤーまだまだです・・・」
でも、そう話す瞳はさらに上を見据え、力強さが溢れていました。



ゼッケンに
祈りを込めて。

新名 風花

新名 風花	3000m A組	20位
		10分29秒37



種目 5000m



小澤 夏美

5000m A組 16位
16分19秒31



「今までの自分を超越る」という今年の目標に果敢にチャレンジしている小澤選手。闘いはまだまだ続きます。

メリー シプコ マネラ 5000m C組 1位
16分23秒28



鈴木 千春

5000m B組 5位
16分25秒06



祈るような気持ちで最後の闘いをサポートする黒澤夏楠マネージャー。

応援ありがとうございました。
後半の食らいつきができなかったですね。
そこを強くしていくことが課題です。
このあとのレースにも選手が出るのでよろしくお祈りします。
と、いつもチームメンバーを気にしている田山選手です。



田山 満理

5000m C組 5位
16分46秒86



真の力を振り絞って闘う選手たち。
その表情からこのレースにかかる想いが伝わって
きました。

▲▲▲
佐々木 瑠衣 5000m B組 11位
16分41秒22



伊坂 菜生
5000m B組 13位
16分53秒65



▲▲▲
佐々木 芽衣 5000m C組 9位
17分05秒83

前半戦の締めくくりとして出場している

ホクレン・ディスタンスチャレンジの4レースが終わりました。

選手一人ひとりが、チームの目標達成のために自分は何を目標にし、
どう調整しなければならないのかという個々の課題に向き合っています。

さらに速く、強い選手になるために。

そして何よりも自身の心と闘っています。その姿は壮絶です。

このあと、選手は強化合宿を経て

いよいよ駅伝シーズンに突入です。

レース後はいつもの笑顔で!!
お疲れさまでした。

日立製作所女子陸上競技部事務局

